



ヒメミカキグサ	<i>Utricularia minutissima</i> Vahl	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 I B類)		タヌキモ科
選定理由	生育地が極度に限定されているうえ、個体数が減少している。	写真(高橋弘)
形態の特徴	細い地下茎があり、そこから葉が出る。葉は基部が地中であって、地下茎とともに白色、地上部は緑色。捕虫囊は葉の地中部と茎につく。葉は線形、長さ0.5-1.5cm。花茎は高さ2-4cm、1-3花を疎らにつける。花は淡赤紫色。	
生態的特徴	浅く水が停留する湿地に生育する。花期は8-9月。	
分布状況	東海地方に固有。岐阜県では県南の中部に見られる。	
減少要因	湿地の埋め立てと採取。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項	確認されていた2箇所のうち、個体数の多かった場所は重機により整地され確認できなくなった。	
参考文献		

文責:高橋弘